

夏秋ギク型スプレーギクの幼若性に関する研究

第1報 親株の冬季管理温度が開花期に及ぼす影響

大保勝宏・石田和英¹⁾

(鹿児島県農業試験場¹⁾・西之表農業改良普及所)

Katsuhiko OHBO and Kazuhide ISHIDA: Studies on juvenility of summer to autumn flowering spray type chrysanthemums.

1. Effect of winter temperatures of mother plant on the flowering season of summer to autumn flowering spray type chrysanthemums

幼若性は、感光性と同様にキクの開花期を支配する要因のひとつとして重要であり、一般に夏秋ギクは強い幼若性を有している。この夏秋ギクを自然開花期前に開花させるためには、冬季に株を加温し、幼若性を獲得させないか、もしくは早期に消失させる必要がある。しかしながら、親株の冬季管理温度と幼若性の関係については研究データも少なく、不明な点が多い。そこで、近年生産が増加している夏秋ギク型スプレーギクについて、親株の冬季管理温度が開花に及ぼす影響について検討した。

1. 材料および方法

バレリーナ他 18 品種を供試し、親株の冬季最低管理温度について① 15℃ (1992年11月～1993年4月7日)、② 10℃ (1992年11月～1993年4月7日)、③ 自然低温 (1992年11月～1993年1月28日) + 15℃ (1993年1月28日～4月7日)、④ 自然低温 (1992年11月～1993年1月28日) + 10℃ (1993年1月28日～4月7日)、⑤ 自然低温 (1992年11月～1993年4月7日) で管理した。それぞれの親株から養成した苗を4月20日に定植し、5月20日に花芽分化抑制のための暗期中断を中止し、以後自然日長条件下で管理した。親株栽培期間中 (1992年11月～1993年4月) の外気温の最低極温は 2.9℃ であった。

2. 結果および考察

(1) 開花期

早期出蕾する品種はなく、開花始期はバレリーナの①区が7月1日と最も早く、カーニバルの③、④、⑤区が8月3日と最も遅かった。電照打ち切りから開花始期までの日数は 42～75 日であった。また、開花始期には到ったが花蕾が正常に発達せず盛期に到らなかったものが、ハートの④、⑤区、メルヘンの②～⑤区に認められた。

(2) 親株の冬季最低管理温度別の電照打ち切りから開花始期までの日数

大半の品種において①区との差は3日以内と大差はなかったが、ハート、メルヘン、カーニバルは①区との差が4日以上で、冬季の管理温度が低いほど日数も多くなる傾向にあった。またハート、メルヘンについては、冬季の管理温度が低いほど開花始期から盛期までの日数も多くなる傾向にあった。

(3) 親株の冬季最低管理温度が開花期に及ぼす影響

ハート、メルヘン、カーニバル以外の大抵の品種において開花期に大きな区間差は認められず、暖地においては、親株を冬季自然低温で管理しても開花遅延せず、正常開花することが認められた。これらの品種については、5月20日の電照打ち切り時点で、すでに幼若性を消失していたものと推察される。また、5月20日時点で幼若性が消失していないと考えられるハート、メルヘンについては親株を冬季最低 15℃ で、カーニバルについては 10℃ で管理する必要があると考えられた。

第1表 親株の冬季最低管理温度別開花特性

品種名		①	②	③	④	⑤
(桃色系)						
バレリーナ	a	42	43	43	—	45
	b		1	1	—	3
キュービット	a	47	48	47	48	47
	b		1	0	1	0
モナコ	a	49	50	51	—	52
	b		1	2	—	3
シナノピンク	a	50	50	49	49	49
	b		0	-1	-1	-1
エリアス	a	51	52	51	51	51
	b		1	0	0	0
ユートピア	a	52	50	51	52	50
	b		-2	-1	0	-2
ハート	a	54	55	55	57	60
	b		1	1	3	6
(白色系)						
ケニア	a	45	46	46	—	48
	b		1	1	—	3
マリンホワイト	a	—	—	46	46	46
	b	—	—	—	—	—
(黄色系)						
サーフィン	a	50	50	50	50	50
	b		0	0	0	0
レイク	a	50	51	50	50	51
	b		1	0	0	1
キャンドル	a	54	55	55	55	56
	b		1	1	1	2
ゴージャス	a	54	56	49	48	50
	b		2	-5	-6	-4
(黄色系)						
コスモ	a	46	46	48	45	46
	b		0	2	-1	0
セイマミー	a	48	49	48	48	48
	b		1	0	0	0
イエローシューズ	a	53	53	54	—	52
	b		0	1	—	-1
オスロ	a	54	55	55	—	56
	b		1	1	—	2
メルヘン	a	63	70	66	66	75
	b		7	3	3	12
カーニバル	a	71	73	75	75	75
	b		2	4	4	4

注) a: 電照打ち切り日から開花始期までの日数, b: 日数差 (電照打ち切り日から開花始期までの日数について各々の区から①区を減じた値)